



■クラブ創立：2000年1月13日  
 ■例会日：第1・第3水曜日（12：30～13：30）  
 ■例会場：中部コミュニティセンター  
 TEL0475-73-3337 FAX73-4360  
 ■事務所：〒299-3251  
 大網白里市大網450-6 ユアサビル2階  
 TEL0475-70-0200 FAX70-0222  
 ■会長：小倉 光夫 幹事：石田 英世  
 ■広報・公共イメージ向上委員会  
 委員長 大越 将司・会報担当 石田 英世

2022年6月15日(水)

第23巻 第20号

通巻第985

<http://www.oamirotary.com>  
 E-mail [rc@oamirotary.com](mailto:rc@oamirotary.com)



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

### 本日の例会

点 鐘 会長 小倉 光夫  
 ソング 手に手つないで  
 会長挨拶 会長 小倉 光夫  
 幹事報告 幹事 石田 英世  
 プログラム

- ①秋葉ガバナー補佐訪問
- ②スリランカ メルビン様  
(米山学友サジーさん夫)  
「スリランカの現状報告」

### ニコニコBOX

成田空港南ロータリークラブ  
 富一美様  
 卓話にお呼び頂きありがとうございます。  
 ニコニコです。  
 (卓話料もニコニコBOXに入れて下さいました。)  
 高山 義則 会員  
 昨年担当した「一宮川河川改良工事その  
 29」で優良工事として表彰を受けました。  
 ニコニコです。

例会日	6月1日	5月25日
会員数	30	30
出席	18	21
欠席	12	9
MU	1	0
免除	2	3
出席率	70.00	80.00

### 会長挨拶

小倉会長所要の為、小高会長エレクト挨拶



皆さんこんにちは。

本日、小倉会長欠席のため、変わって次年度会長の小高がご挨拶させていただきます。

はじめに、本日のお客様、成田空港南ロータリークラブ 富一美様、「ようこそ、お越しくございました。ありがとうございます。」

富様には、この後、「SDGs達成に向けた取り組み」というテーマで卓話頂きます。宜しく願いいたします。

さて、6月6日、月曜日、関東甲信越地方が、梅雨入りに、例年より1日早い梅雨入りだそうです。つい先ごろまで、初夏を思わせる様な30度を超える真夏日から一転して、肌寒く感じる今日、皆様方には、お身体、体調など、崩さぬ様、ご自愛くださいませ。

さて、小倉、石田年度も、残すところ、あと数回の例会開催となりましたが、コロナ過において、例会場の確保、その中での理事会の開催、例会の開催、例会中止の決定など、時事変わる日程にほんろうされた1年間であったと思われます。

6月29日、次年度引継ぎ夜間移動例会を居酒屋はせ川にて開催いたします。6月は、ロータリー親睦月間です。小倉・石田年度最後の親睦活動となりますので、会員皆様方のご出席の程、宜しく願い致します。

次年度は、小高・高山年度が7月よりスタートいたします。期待と不安が入り混じった気持ちではありますが、1年間頑張りますので宜しくご指導の程、お願い申し上げます。

最後に、6月22日次年度活動報告書の最終提出日となっておりますので、各、委員会の委員長、各リーダーの皆様には、活動方針の書面提出宜しく願い致します。

### 会員卓話

2022年6月8日



成田空港南ロータリークラブ 富一美様

### 「SDGs達成に向けた取り組み」

皆様、こんにちは。成田空港南 RC の富です。職業分類は「資源開発」です。産業廃棄物を原料として中間処理を行い、その生成物である石炭代替燃料等を販売することを主たる生業としております。

さて本日は、第7グループの秋葉ガバナー補佐の方からのご紹介で、「SDGs達成に向けた取り組み」について卓話をさせていただくことになりました。じつは、私の会社の新聞記事が千葉日報に掲載されたのをご覧になられまして、大変関心を持たれたとのことでした。SDGsの話を他のRC会員の皆様のお仕事にも大変参考になると思うので是非やってほしいとのことでした。まだまだ勉強途中で余り知識のない私ですが、皆様と一緒に勉強しながらお話させていただこうと思っておりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

内容としましては、千葉銀行は、弊社に対して他の金融機関と共同で18億円を協調融資したとありまして、これはSDGs(持続可能な開発目標:Sustainable Development Goals)に関する取り組みを推進するためといいますか、或いは後押しするために、今年の1月から取り

# 幹事報告

石田幹事より

2022年ヒューストン国際大会が開催されておりますが、同時に2023年メルボルン国際大会の登録受付も開始されました。登録マニュアル、登録書式サンプル等、添付ファイルが送られて来ています。

## クラブよりお知らせ

①大網 RC ホームページのリニューアルについてお願い

大網 RC の HP に、会員事業所様の HP のリンクを掲載させていただきます。

6月19日(日)までにご回答のない場合は、リンク掲載の方向で進めさせていただきます。なお、リンクの掲載について不都合が生じた場合は、事務局までご連絡下さい。ご対応させていただきます。

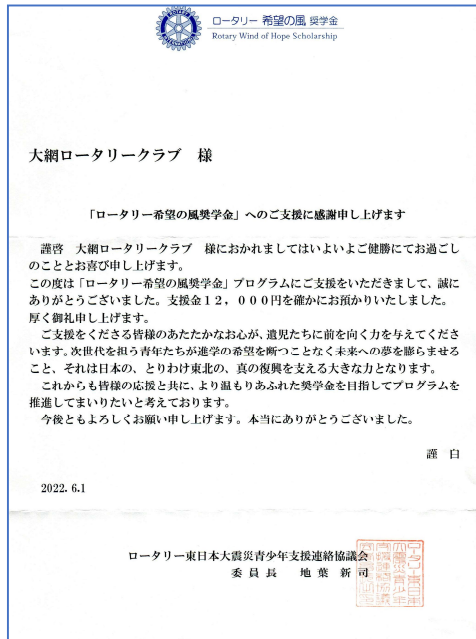
②ロータリー希望の風ワインが届きました。6/29開催の引継夜間移動例会にてご賞味下さい。ワイン購入金額の一部が希望の風奨学金へ充てられます。

ロータリー希望の風奨学金は、2011年3月11日に発生した東日本大震災で両親または片親を亡くした子どもたちに、大学や短期大学、専門学校への進学をあきらめないでほしいという思いから生まれました。

入学から卒業まで毎月5万円の給付をし、返還を求めません。

本奨学金は、震災時に0歳時だった子どもが大学を卒業するまで22年間継続いたします。

皆様のご協力に感謝申し上げます。



扱いを開始したばかりの融資商品である「ちばぎんSDGsリーダーズローン」を活用した初の試みですという内容でございます。

参加していただいた銀行といえますと、千葉銀行が主幹事となり、商工組合中央金庫、常陽銀行、千葉興業銀行の4銀行でございます。これは、企業と一体となって銀行もSDGs推進に取り組んでいますよという、ある意味銀行の一つの情報発信でもあるわけです。この制度というのは、これからご説明させていただきますSDGsに沿ってサステナビリティ経営を積極的に実践しようとする事業者が、事業規模や経営実態に合わせて有効な目標等を設定する融資制度です。本日の卓話で皆さんと一緒に勉強したいのは、このSDGsと事業のサステナビリティ(持続可能性)の二つです。※サステナビリティ経営とは、どういう経営形態かといえますと、「環境・社会・経済の持続可能性への配慮により、事業のサステナビリティ(持続可能性)の向上を図る経営」のことをいいます。

なお、新聞に掲載された通り、本件が、県内では「ちばぎんSDGsリーダーズローン」として初めてのシンジケートローン方式の取組みとなるそうです。※ここでまた改めてシンジケートローン方式という言葉が出てきましたが、このシンジケートローン方式とは、ひとつの顧客に対して複数の金融機関が連携して融資を行うローンのことをいいます。プラスメリットとして、将来的に資金調達幅を広げられる可能性があるというものです。これを利用して弊社は、次のプロジェクトとして、自社製造燃料を使ったバイオマス発電所の建設を計画しております。

現在稼働中の弊社のプラントでも、持ち込まれた廃プラスチック等をもとに、フラフ燃料と呼ばれる燃焼材を製造する仕組みを備えておりまして、特に新設工場ではエネルギー代替廃棄物等の使用拡大に寄与するほか、フラフ燃料を石炭等の代替燃焼材として用いることによりまして、燃焼時のCO2排出量の削減効果も大きく見込まれます。

さて、今回の卓話を①SDGsとはなにか?について②具体的な弊社のSDGsの取り組みについての2つに分けてお話させていただきます。

### ① SDGsとはなにか?

持続可能な開発目標(SDGs: Sustainable Development Goals)のことで、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す、「国際目標」です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。

SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

### ② 具体的な弊社のSDGsの取り組み

弊社では、地球規模での環境・エネルギー問題は、来るべき未来に向かって避けて通ることのできない重要なテーマと認識しております。

1973年(昭和48年)設立以来、産業廃棄物処理問題に真剣に取り組んでおよそ半世紀、当社は「中間処理」という方法の中に「再利用」というカテゴリーを考慮し、努力を続けてまいりました。

今、ここに、総てをゼロ・エミッションに導く手法を見出しました。その取り組みとしまして、ISO14001を2003年(平成15年)に取得、また、コンプライアンスやCSRを全うするため、ISO9001を2007年(平成19年)に取得し、その後、千葉県に「ちばSDGsパートナー登録」をしました。

弊社のSDGs達成に向けた経営方針等をご紹介しますと、まず、SDGs推進に取り組む他企業や地域の様々な団体、学校等と連携し、持続可能な社会づくりを進めます。

- 常に革新的な環境創造を通じて、地球環境に配慮した経営を進めます。
- 全従業員物心両面の幸福を追求し、働きやすい職場づくりを進めます。
- 資源循環事業に尽力し、携わって頂く方々にもSDGsを知って頂けるよう、普及啓発に取り組めます。



弊社では、SDGs 17のゴールのうち、エネルギーや環境目標を中心に捉え、自社技術により、生態系保全に貢献する事を目標とすることが、責任であると定めております。

このSDGsのゴールの7、8、9、10、12、13、14、15が関連項目です。

弊社では、石炭に代わる廃棄物エネルギー「フラフ燃料」の活用を大手セメント会社、

大手製紙会社、大手石灰製造メーカーと取り組んでまいりました。

- ・フラフ燃料製造プラント新設概要・・・省略
- ・事業の目的・・・省略
- ・増設予定の施設概要・・・省略
- ・【事業の効果】として、具体的に二酸化炭素排出量削減効果は、年間5万tを燃料化したと仮定したときに、石炭と同等カロリーのフラフ燃料を燃焼させた場合、石炭燃焼時に比べ、約33%排出量削減が見込める為、定められた換算する計算式で算出すると、約4万tもの二酸化炭素低減効果が期待できる。

結びに、私もロータリアンとして、自分の職業を通じて地球環境や地域社会に貢献できる喜びを肌で感じております。皆さんの職業もSDGsの17のゴールのいずれかには必ず該当すると思っておりますが、職業生活の面ならず社会生活の面においてもSDGsを意識しながら日々を過ごされてはいかががでしょうか?ご清聴ありがとうございました。